

SHARP

取扱説明書（操作・設定編）

ネットワークカメラ

形名 **YK-D02AC**



このたびは、シャープ製ネットワークカメラ YK-D02AC（以下、本製品）をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書（以下、本書）および、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）に記載の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

本書の内容は、改良のため予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取扱説明書（基本編）、および、ソフトウェアは下記 URL よりダウンロードすることができます。

<https://jp.sharp/business/security-camera/>

■ もくじ

はじめに	3
■取扱説明書について	3
■本製品でできること	4
■ご使用になる前に確認してください.....	5
アクセスしてパスワードを設定する	6
■事前準備.....	6
■ActiveX コントロールを許可する	6
■プロキシサーバーを無効にする.....	7
■カメラにアクセスしてパスワードを設定する	7
操作する	9
■画面の見かた.....	9
■クイックボタン	9
■スナップショットを撮影する	10
■録画を開始する	11
■ライブビュー映像を拡大表示する	11
■ログアウトする	11
設定する	12
■設定.....	12
■システム設定.....	12
一般設定	12
ユーザー設定	13
日時設定	15
OSD設定.....	16
システムログ	17
■映像設定.....	17
ストリーム設定.....	17
画質の基本設定.....	19
画質の詳細設定.....	20
デイナイト	22
プライバシーマスク.....	23
■コントロール設定.....	23
アラーム I/O.....	23
グローバルカウンター	23
疑似入力	24
■ネットワーク設定.....	25
一般設定	25
HTTP	26
RTSP	26
HTTPS.....	26
■スマートイベント設定.....	28

スマートイベント	28
モーション検知	30
■通知設定	30
FTP 転送	31
メール通知	31
HTTP 通知	32
SD カード録画	34
SD カードバックアップ	34
Samba サービス	35
■メンテナンス	36
ファームウェア更新	36
設定エクスポート/インポート	36
システム再起動	36
工場出荷設定	37

はじめに

■取扱説明書について

構成について

本製品の取扱説明書は、次の構成になっています。

- **取扱説明書 基本編：**
安全上のご注意、設置時や使用時のお願い事項について記載されています。
本製品を使用する前に必ずお読みください。
- **取扱説明書 操作・設定編（本書）：**
本製品を使用するにあたっての設定および操作方法について記載されています。

表記について

本書では、説明を簡単にするために「ネットワークカメラ」を「カメラ」、「ネットワーク・ビデオレコーダー」を「NVR」と表記します。

商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge、ActiveX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

免責事項

本書に記載の仕様、外観、画面表示などは予告なしに変更する場合があります。また、本書に記載の内容は本製品の仕様すべてを網羅するものではありません。あらかじめご了承ください。

■本製品でできること

製品概要

本製品は、近赤外線照射機能を備えたドームタイプの屋外対応ネットワークカメラです。

形名	画素数	焦点距離	防水・防塵性	圧縮形式
YK-D02AC	約 200 万画素	2.8mm (固定)	IP67	H.264/H.265

特長

●高圧縮

最新の動画圧縮規格 H.265 に準拠しており、H.264/H.265 形式でのマルチストリーミングが可能です。

●PoE 給電対応

PoE 給電に対応。ネットワークケーブルで電源を供給できるため、配線処理作業を効率化できます。

●Web ブラウザー対応

Microsoft Edge IE モードに対応しています。ライブビュー視聴の他、メール通知、HTTP プッシュ通知など、各種アラーム通知方法に対応しています。

主な機能

- 動画圧縮規格 H.264 および H.265 形式に準拠
- メールまたは FTP を介したスナップショットアラーム通知
- デイナイト機能を搭載
- モーション検知機能を搭載
- ネットワークタイムプロトコル (NTP) に対応
- ONVIF プロトコルに対応

■ご使用になる前に確認してください

接続する機器の推奨仕様について

本製品と接続して使用する機器の推奨仕様は、次のとおりです。

●パソコンの推奨仕様

対応 OS	: Windows10
Web ブラウザー	: Microsoft Edge IE モード
CPU	: Core i5 第7世代以降
メモリ	: 8GB
グラフィックボード	: NVIDIA

●LAN ケーブルの推奨仕様

カテゴリ	: 5e 以上に準拠
長さ	: 100m 以下
	100m を超える場合は PoE ハブ等の電源供給機を併用ください。

●記録媒体の推奨仕様

種類	: microSD メモリーカード
容量	: 128GB 以下
SD スピードクラス	: CLASS10 (推奨)
フォーマット形式	: FAT32 (本製品にてフォーマットいただくことを推奨します。)

ユーザータイプ

本製品は、誤操作や不正な操作を防ぐため、ユーザーごとに操作できる機能を制限できます。

ユーザーは次の3タイプに分けられます。詳しくは、本書「システム設定」の「ユーザー設定」をご確認ください。

●管理者:

すべての操作・設定を実行できます。

●操作者:

すべての操作と一部の設定を実行できます。

●ゲスト:

ライブビューの視聴およびライブビュー画面での操作を実行できますが、設定画面にアクセスできません。

使用時の制約事項

本製品では、各操作や機能において次のような制約事項があります。内容をよくご確認の上、ご使用ください。

●再起動について

システムに過度の負荷がかかったとき、本製品は自動的に再起動する場合があります。

●動画（ライブビュー/再生）の表示について

フレームレート、解像度などの設定組み合わせ、あるいは、パソコンの仕様によってなめらかに表示されない場合があります。

●遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」について

本製品は、弊社が提供している遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」の公式アプリ「SHARP ビュー」に非対応です。本製品の映像を離れた場所から視聴したい場合は、本製品をインターネットに接続した上で、パソコンの Web ブラウザーからアクセスしてください。あるいは、本製品を弊社製 NVR に接続した上で、NVR をインターネットに接続し、パソコン、あるいはモバイル機器の Web ブラウザーからアクセスしてください。

遠隔視聴の詳しい設定方法については、お買いあげの販売店または弊社営業担当にご確認ください。

アクセスしてパスワードを設定する

■ 事前準備

- 取扱説明書（基本編）の「システム構成」に記載の構成で、カメラ、パソコンおよび PoE 給電機能付きネットワークスイッチ（NVR でも可）等を接続してください。
- 本製品にアクセスする前に、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

■ ActiveX コントロールを許可する

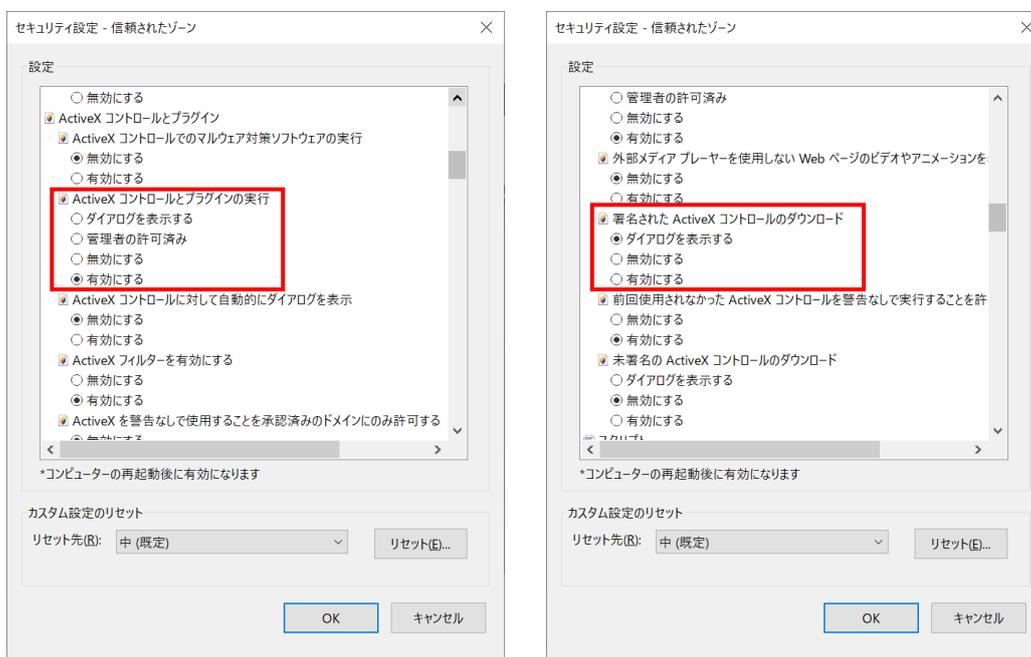
ライブビューを視聴するためには ActiveX コントロールが必要です。ActiveX コントロールのパソコン上での動作を許可するために、次の設定を実施してください。

1. パソコンの [セキュリティ設定] 画面を開きます。

パソコンの [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] から、[インターネットオプション] > [セキュリティ] > [レベルのカスタマイズ] を開きます。（アイコン表示でコントロールパネルを操作した場合について記載しています。）

2. [ActiveX コントロールとプラグイン] の項目を設定します。

[ActiveX コントロールとプラグインの実行] で [有効にする] を選択し、[署名された ActiveX コントロールのダウンロード] で [ダイアログを表示する] を選択し、設定を保存します。



(Windows10 設定画面)

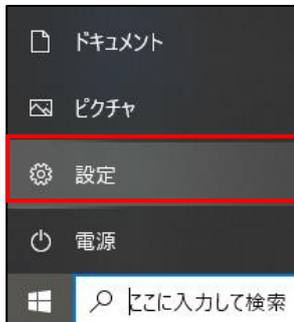
メモ：

- ご使用のパソコンによって設定画面や項目名称が異なります。

■ プロキシサーバーを無効にする

ネットワークの設定でプロキシサーバーが有効になっていると、カメラにアクセスできません。以下の手順でプロキシサーバーを無効にしてください。

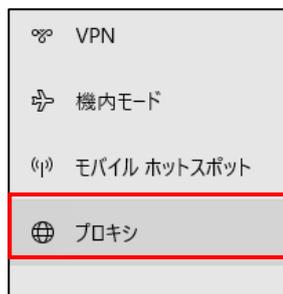
1. Windows の【設定】を開きます。



2. 【ネットワークとインターネット】を開きます。

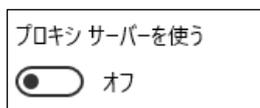


3. 【プロキシ】を開きます。



4. プロキシサーバーを無効にします。

プロキシの【プロキシサーバーを使う】をオフにします。



ご注意：

- 上記手順は、Windows10 の場合の操作となります。

■ カメラにアクセスしてパスワードを設定する

パソコンの Web ブラウザーを介してカメラにアクセスします。セキュリティの観点から、カメラにはじめてアクセスした際にユーザー名とパスワードを作成する必要があります。

アクセスしてパスワードを設定する

1. パソコンとカメラを同一ネットワークに接続します。

パソコンのネットワーク設定方法については、パソコンの取扱説明書をご確認ください。

2. パソコンで Web ブラウザーを起動し、アドレスバーにカメラの初期 IP アドレスを入力後、エンターキーを押します。

カメラのパスワード作成画面が表示されれば、アクセス成功です。

ご注意：

- ネットワークのプロキシサーバーを無効にしてください。プロキシサーバーが有効になっているとカメラにアクセスできません。

メモ：

- Web ブラウザーは Microsoft Edge IE モードをご使用ください。
- JPEG またはフル HD ビデオを表示するには、ActiveX コントロールが必要です。インストールを要求する警告ダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってインストールしてください。
- 本製品の初期 IP アドレスは 192.168.0.200 です。使用可能な IP アドレスについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

3. パスワード作成画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。

4. [パスワードを作成] ボタンをクリックしてパスワードを設定します。

メモ：

- 設定したユーザーが管理者権限を持ちます。
- アルファベットの大文字と小文字は識別されます。
- パスワードは、8 文字以上、かつ、アルファベットの大文字、小文字、数字 (0~9)、記号 (~ ? / + = , ; . ' @ # ¥ % ^ & * () _ -) の中から 3 種類以上の文字を含める必要があります。

ご注意：

- ユーザー名およびパスワードといった認証情報はお客様ご自身の責任で適切に保管してください。
- 万一認証情報を忘れた場合は本書「工場出荷設定」に記載の手順で工場出荷状態にリセットしてください。

5. ActiveX コントロールをダウンロードします。

カメラに初めてアクセスした際、ActiveX コントロール (video.cab) に関するセキュリティ警告ダイアログが表示される場合があります。表示された場合は[インストール]をクリックし、ActiveX コントロールをインストールしてください。

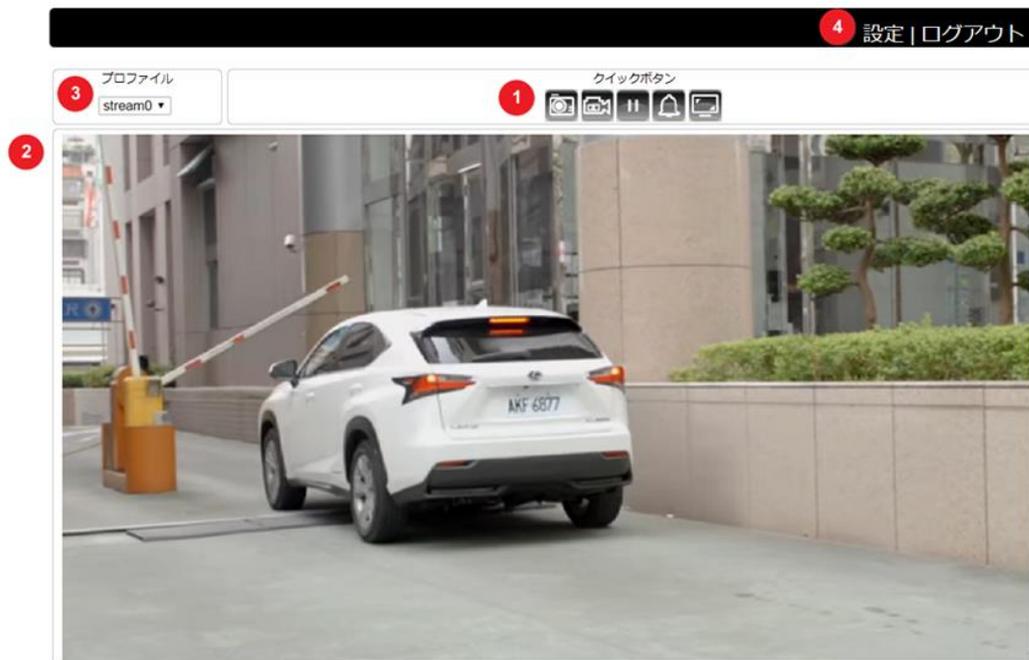
この Web サイトは、'IP Video Co., Ltd' からのアドオン 'video.cab' をインストールしようとしています。 [危険性の説明\(W\)](#)

インストール(0) ×

操作する

■画面の見かた

本製品のメイン画面の構成について説明します。



- ①クイックボタン : 各機能を実行または機能画面に切り替えます。
- ②ライブビュー画面 : ストリーミング映像を表示します。
- ③プロフィールメニュー : 別のプロフィールに切り替えます。
- ④設定 : 設定画面を表示します。

■クイックボタン

クイックボタンの各機能は次の通りです。

アイコン	説明
	スナップショットを撮影します。
	録画を開始/停止します。
	録画を一時停止します。
	アラーム出力の有効/無効を切り替えます。
	メイン画面の拡大表示/通常表示を切り替えます。

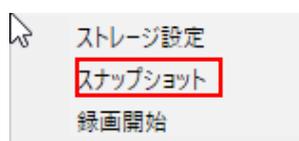
メモ：

- スナップショットおよび録画を開始するには、Microsoft Edge の IE モードの設定で、カメラを信頼済サイトに登録しておく必要があります。
信頼済サイトに登録するには、[ツール] > [インターネットオプション] > [セキュリティ] を開きます。[信頼済サイト] > [サイト] ボタンを選択し、「この Web サイトをゾーンに追加する」の入力欄に登録するカメラのアドレスを入力し、[追加] ボタンを選択してください。ブラウザの再起動を行ってから、カメラに再度ログインしてください。
- アラーム出力については、本書「設定する ■コントロール設定」をご確認ください。

■スナップショットを撮影する

スナップショットを撮影する方法は2通りあります。

- クイックボタン  の をクリックする
- ライブビュー画面上で右クリックし、メニューから [スナップショット] を選択する



取得したスナップショットは、[ストレージ設定] で設定しているフォルダに保存されます。



- **スナップショットデータ保存場所**：スナップショットの保存フォルダを設定します。
- **録画データ保存場所**：録画データの保存フォルダを設定します。
- **録画容量**：保存ファイルのデータサイズを設定します。
- **ハードウェアアクセラレーションを有効にする**：有効の場合、録画処理を効率化します。
- **フロント**：フロント設定画面が表示されますが本製品では使用できません。

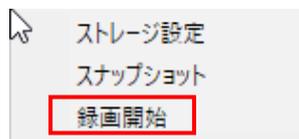
メモ：

- データ保存場所のパスは半角英数字で設定する必要があります。
- 使用しているパソコンの環境によっては、ハードウェアアクセラレーションを有効にすると正しく動作しない場合があります。

■録画を開始／停止する

録画を開始／停止する方法は2通りあります。

- クイックボタンの  をクリックする
録画中にクイックボタンの  をクリックして録画を停止できます。
- ライブビュー画面上で右クリックして、表示されるメニューから [録画開始] を選択する
録画中にライブビュー画面上で右クリックして [録画停止] をクリックすることで、録画を停止できます。



■ライブビュー映像を拡大表示する

ライブビュー画面を大きく表示する方法は、3通りあります。

- クイックボタンの  をクリックする
ライブビュー画面が大きく表示されます。クイックボタンの  をクリックすると元の表示に戻ります。
- ライブビュー画面をダブルクリックする
ライブビューがモニターに全画面表示されます。再度ダブルクリックすると、元の表示に戻ります。
- ライブビュー画面の中でドラッグ&ドロップする
ドラッグ&ドロップした範囲の左上を起点として、一定の範囲をデジタルズームして拡大表示します。右下に表示される枠内で緑の外枠を移動させることで、拡大箇所を変更することもできます。右クリックすると元の表示に戻ります。



■ログアウトする

メイン画面の [ログアウト] ボタンをクリックしてログアウトします。



設定する

■ 設定

管理者または操作者権限でログインしている場合、Web ブラウザーから本製品の設定を変更することができます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックして設定画面を表示します。



メモ：

- ユーザー設定、ファームウェアアップデート、工場出荷設定は、管理者権限のユーザーしか実行できません。
- ゲストユーザーの場合、設定ボタンが表示されません。

■ システム設定

システムについて設定するには、設定画面の「システム」タブを選択します。

左側に表示される「一般設定」「ユーザー」「日時」「OSD」「システムログ」のメニューから確認または設定する項目を選択してください。



一般設定

[システム] → [一般設定] より、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、OS バージョン、システム起動時間、デバイス名などのサーバーシステム情報を閲覧することができます。デバイス名は、本画面から変更できます。



- **MAC アドレス** : カメラの MAC アドレスを表示しています。
- **ファームウェア Ver.** : カメラのファームウェアバージョンを表示しています。

- **OS Ver.** : カメラの OS バージョンを表示しています。
- **システム起動時間** : 最後にシステムが起動された日時を表示しています。
- **デバイス名** : デバイス名はユーザーがカメラを識別するために使用します。デバイス名を変更するには、カメラの新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。

ユーザー設定

本製品には、最大で 10 名分のユーザーアカウントを登録することができます。アカウントごとに個別にユーザーグループ（アクセス権限）を設定することが可能です。ユーザーグループは、「管理者」「操作者」「ゲスト」から選択できます。

設定画面で [システム] → [ユーザー] を選択し、ユーザー設定画面を表示します。ユーザーを追加または編集するには、[ユーザー追加] または [ユーザー編集] をクリックします。

- **パスワード強度** : ON の場合、パスワードに次の文字制限がかかります。セキュリティの観点から ON にしておくことを推奨します。
【文字制限】8 文字以上、かつ、アルファベットの大文字、小文字、数字 (0~9)、記号 (~?/+=,;:.' @# ¥ % ^ & * () _ -) の中から 3 種類以上の文字を含める
- **セキュリティ認証** : ON にするとログインに複数回失敗したユーザーのログインを一定時間ブロックできます。[時間範囲] の間に [ログイン失敗回数] ログインに失敗した場合、[IP ブロック時間] の間、ログインがブロックされます。

• ユーザーアカウントを追加する

新しいユーザーアカウントを追加するには、ユーザー設定画面で [ユーザー追加] を選択します。ユーザー名とパスワードを入力し、パスワード確認欄に再度パスワードを入力します。次に、ユーザーグループを管理者／操作者／ゲストから選択します。OK をクリックして設定内容を確定します。

ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
	パスワードは以下の基準に従って設定してください: (1)8文字以上 (2)アルファベットの大文字、小文字、数字、記号 (3)3種類以上の文字を含む
パスワード確認	<input type="password"/>
ユーザーグループ	<input checked="" type="radio"/> 管理者, <input type="radio"/> 操作者, <input type="radio"/> ゲスト
	<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

・ユーザーアカウントを編集する

ユーザーアカウントの編集では、ユーザーのパスワードおよびユーザーグループを変更できます。

[ユーザー] のドロップダウンリストから該当するユーザーを選択し、[ユーザー編集] をクリックします。ユーザー情報を編集後、[OK] をクリックしてユーザー情報を保存します。

設定 > システム > ユーザー

パスワード強度 ON

セキュリティ認証 OFF 時間範囲: 30 分 ログイン失敗回数: 5 ログイン失敗回数: 5 IPブロック時間: 5 分

ユーザー admin

ユーザー名	<input type="text" value="user123"/>
パスワード	<input type="password"/>
	パスワードは以下の基準に従って設定してください: (1)8文字以上 (2)アルファベットの大文字、小文字、数字、記号 (3)3種類以上の文字を含む
パスワード確認	<input type="password"/>
ユーザーグループ	<input checked="" type="radio"/> 管理者, <input type="radio"/> 操作者, <input type="radio"/> ゲスト
	<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

・ユーザーアカウントを削除する

ユーザーを削除するには、[ユーザー] のドロップダウンリストから該当するユーザーを選択し、[ユーザー削除] をクリックします。確認ダイアログで [OK] をクリックしユーザーを削除します。

設定 > システム > ユーザー

パスワード強度 ON

セキュリティ認証 OFF 時間範囲: 30 分 ログイン失敗回数: 5 ログイン失敗回数: 5 IPブロック時間: 5 分

ユーザー admin

メモ：

- この機能を利用するには本製品をインターネットに接続してください。
- NTP サーバーの初期値は「ntp.nict.jp」です。

OSD 設定

OSD（オンスクリーン・ディスプレイ）とは、映像上にシステム情報を表示する機能です。日付、ステータスなどを表示することができます。

設定画面 [システム] → [OSD] から、カメラ ID、日付、およびステータスについて、OSD の表示／非表示の切り替えや、文字の色を設定することができます。



- **OSD** : OSD の表示/非表示を切り替えします。
- **文字カラー** : テキストの色を選択します。
- **背景カラー** : テキストの背景の色を選択します。

システムログ

設定画面 [システム] → [システムログ] から、システムが生成したログ情報を閲覧することができます。

保存アイコン  をクリックすると、ログをS Qライト形式でエクスポートできます。また、分類キーワードを選択することでログファイルを検索することができます。

設定 > システム > システムログ

IPアドレス	ユーザー	日時	ログ詳細
		2020/10/28 09:32:03	Power On(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.100	admin	2020/10/27 11:26:38	HTTP User Reject(SYSTEM WRONG)
		2020/10/27 11:21:59	Power On(SYSTEM MESSAGE)
		2020/10/26 08:28:05	Power On(SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.100	admin	2020/10/23 16:15:38	Add User, test(SYSTEM MESSAGE)

■映像設定

映像について設定するには、設定画面の「映像」タブを選択します。左側に表示される「ストリーム」「画質 基本」「画質 詳細」「デイナイト」「プライバシーマスク」のメニューから、確認または設定したい項目を選択してください。



ストリーム設定

設定画面 [映像] → [ストリーム] からストリーム情報を設定できます。

インターネットなど、帯域幅の狭いネットワークを介して映像を送信する場合は、実際にアップロードを実行する帯域幅に近いビットレートを設定してください。本製品はビットレート設定に基づいてフレームをエンコードします。

設定 > 映像 > ストリーム

蛍光灯ちらつき低減 : 60Hz 50Hz

エンコーダー1

プロファイル

解像度

フレームレート

キーフレーム間隔

ストリーム状態

ビットレート

RTSP URL

エンコーダー2

プロファイル

解像度

フレームレート

キーフレーム間隔

ストリーム状態

ビットレート

RTSP URL

エンコーダー3

プロファイル

解像度

フレームレート

キーフレーム間隔

ストリーム状態

ビットレート

RTSP URL

エンコーダー 1 から 3 の各プロファイルを設定できます。

- **蛍光灯ちらつき低減** : 本製品を使用する地域の電源周波数を選択してください。蛍光灯による映像のちらつきを低減します。
- **プロファイル** : 映像圧縮規格を H.264/H.265 から選択してください。
- **解像度** : 映像ストリームの解像度を選択してください。
- **フレームレート** : 映像のフレームレートを選択してください。(1fps~30fps)
- **キーフレーム間隔** : 1 秒間に表示されるキーフレーム数を選択してください。
- **ストリーム状態** : CBR (固定ビットレート) /VBR(可変ビットレート)から選択してください。VBRの方が使用する帯域幅を抑えることができます。
- **ビットレート** : ネットワーク上で利用可能な最大ビットレートを設定してください。
- **RTSP URL** : リアルタイムストリーミングプロトコル (RTSP) を介して映像ストリームにアクセスする際の URL を表示しています。

メモ:

- 解像度は、設定値と実際の解像度に若干の差異が生じる場合があります。

設定後、[OK] をクリックして設定内容を保存します。

画質の基本設定

設定画面 [映像] → [画質 基本] からデイモード、ナイトモードそれぞれについて、3Dノイズリダクション、明るさ、コントラスト、色合い、彩度、およびシャープネスを設定できます。デイモード、ナイトモードで設定を独立させることで、それぞれで最適な映像画質が得られます。



[デイモード] [ナイトモード] ボタンで設定するモードを選択します。デイモードはカラー映像、ナイトモードはモノクロ映像となります。

- **左右反転（ミラー）** : [オン] の場合、映像を左右反転します。
- **上下反転（フリップ）** : [オン] の場合、映像を上下反転します。
- **3D ノイズリダクション** : 夜間のノイズが目立つ場合、必要に応じて高く設定してください。
- **明るさ** : 映像の明るさを調整できます。
- **コントラスト** : 映像のコントラストを調整できます。
- **色合い** : 映像の色合いを調整できます。
- **彩度** : 映像の彩度を調整できます。

[初期値に戻す] をクリックすると初期設定に戻ります。

画質の詳細設定

設定画面 [映像] → [画質 詳細] からホワイトバランス、露出、Auto Gain Control、シャッタースピード、および赤外線 LED 等の設定を行い、昼夜それぞれのカメラ映像品質を調整することができます。

本製品では、デイモード、ナイトモードそれぞれについて映像品質を調整することができます。特に夜間の映像を明るくする感度アップ機能を使用する際に便利な設定です。デイモード、ナイトモードの切り替えについては、後述のデイナイトから設定することができます。

設定 > 映像 > 画質 詳細



デイモード
ナイトモード

ホワイトバランス	自動
露出値	8
WDR	自動
シャッタースピード(秒)	最小: 1/20000 最大: 1/30
Auto Gain Control	30
感度アップ	オフ
カラーモード	カラー
赤外線 LED	0
赤外線カットフィルター	オン

初期値に戻す

映像設定オプションは以下の通りです。

- **ホワイトバランス** : ホワイトバランスを調節します。詳しくは後述します。
- **露出値** : 露出の値を調節します。値が高いほど映像が明るくなります。
- **WDR** : ワイドダイナミックレンジ（逆光環境でより鮮明な映像を撮影する機能）を設定します。
- **シャッタースピード（秒）** : シャッタースピードの最小値と最大値を設定します。
- **Auto Gain Control** : Auto Gain Control を調節します。詳しくは後述します。
- **感度アップ** : 感度アップ（暗所でより明るい映像を撮影する機能）を調整します。値が大きい程映像が明るくなります。
- **カラーモード** : 映像のカラー/白黒を切り替えます。
- **赤外線 LED** : 赤外線 LED の明るさを調節します。
- **赤外線カットフィルター** : 赤外線カットフィルターのオン/オフを切り替えます。

●ホワイトバランス

本製品には、昼夜ホワイトバランス制御機能が搭載されています。

ホワイトバランス	手動 ▾
R-Gain	1 ▾ (1~255)
B-Gain	1 ▾ (1~255)

- **ホワイトバランス** : ホワイトバランス調整の方法を自動/手動から選択します。手動を選択した場合、次の項目を調整してください。
- **R-Gain** : 赤ゲインに対する自動ホワイトバランスを調整します。
- **B-Gain** : 青ゲインに対する自動ホワイトバランスを調整します。

●Auto Gain Control (AGC)

Auto Gain Control (AGC) とは低光量の環境下でも良好な画質の映像を得ることができる機能です。デイモード (カラー)、ナイトモード (白黒) どちらでも使用できます。

AGC は、6/12/18/24/30/36/42 から選択でき、低光量の場合は大きい値を設定することで、より明るい映像を得ることができます。

また、AGC を 3D ノイズリダクション (3D DNR) と併用することで、低光量下でのノイズを抑制できます。AGC および 3D DNR はモーションブラーを発生させません。AGC を使用しても映像が暗い場合は、感度アップをオンにしてください。ただし、感度アップを使用すると低光量下でモーションブラーが起きることがあります。



<オフ>

<AGC オン>

<AGC+感度アップ オン>

●感度アップ

感度アップはスローシャッターで映像を明るく補正する機能です。特に低光量の環境下で効果を得られます。

感度アップ オフ



感度アップ オン



デイナイト

設定画面 [映像] → [デイナイト] から、デイモード（カラー）とナイトモード（モノクロ）の切り替えについて設定できます。

(1)自動（自動切り替え）、(2)デイモード（デイモードに固定）、(3)ナイトモード（ナイトモードに固定）、または(4)スケジュール（スケジュール切り替え）の中から選択できます。

- **自動** : 光センサーからの信号に従って赤外線 LED が自動でオン/オフします。切替遅延時間は、周囲の明るさが変わってからモードを切り替えるまでの時間です。
- **デイモード** : 赤外線カットフィルターが常にオン（赤外線 LED が常時オフ）となります。映像は常時カラーで表示されます。
- **ナイトモード** : 赤外線カットフィルターが常にオフ（赤外線 LED が常時オン）になります。映像は常時モノクロで表示されます。
- **スケジュール** : 指定された時刻に赤外線カットフィルターがオン/オフされます。

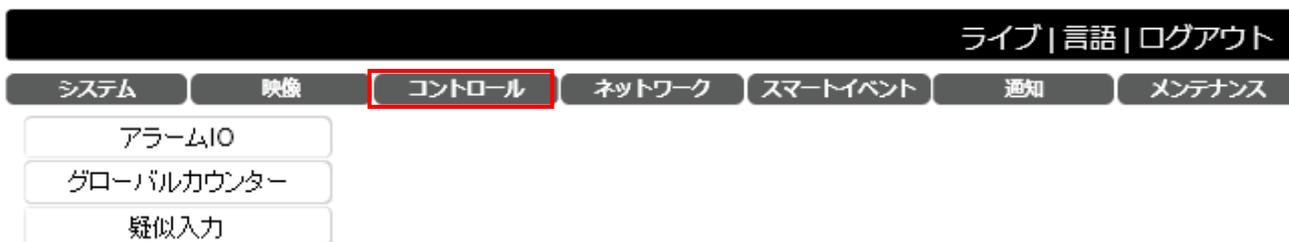
プライバシーマスク

本製品の映像上に、最大4箇所までプライバシーマスクを設定することができます。設定画面[映像] → [プライバシーマスク] から、いずれかのマスク番号を選択し、映像上でマスクしたい部分をドラッグして指定します。



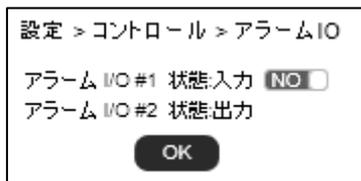
■コントロール設定

コントロールについて設定するには、設定画面の「映像」タブを選択します。左側に表示される「アラーム I O」「グローバルカウンター」「疑似入力」のメニューから、確認または設定したい項目を選択してください。



アラーム I/O

本製品は NO（ノーマルオープン）および NC（ノーマルクローズ）コントロールインターフェースに対応しています。設定するには、本製品にセンサーなどの外部アラーム入力機器を接続します。次に、設定画面 [コントロール] → [アラーム I O] から、入力機器について NO か NC かを切り替えます。



グローバルカウンター

グローバルカウンターは、リモートデバイスのトリガーをカウントするための機能です。

グローバルカウンターは疑似入力がトリガーとなり、LED 表示など、出力用途に使用することができます。

本製品では、最大 16 個のグローバルカウンター入力をサポートしています。

設定 > コントロール > グローバルカウンター

グローバルカウンター #1	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #2	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #3	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #4	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #5	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #6	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #7	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #8	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #9	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #10	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #11	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #12	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #13	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #14	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #15	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>
グローバルカウンター #16	状態:	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="設定"/>

疑似入力

疑似入力は、他のリモートデバイスのトリガーとして使用できます。本製品では、最大 16 個の疑似入力をサポートしています。

設定 > コントロール > 疑似入力

疑似入力 #1	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #2	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #3	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #4	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #5	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #6	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #7	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #8	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #9	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #10	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #11	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #12	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #13	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #14	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #15	状態:	<input type="checkbox"/>	0
疑似入力 #16	状態:	<input type="checkbox"/>	0

■ ネットワーク設定

ネットワークについて設定するには、設定画面の「ネットワーク」タブを選択します。左側に表示される「一般設定」「HTTP」「RTSP」「HTTPS」のメニューから、確認または設定したい項目を選択してください。



一般設定

設定画面 [ネットワーク] → [一般設定] では、本製品をネットワークに接続するための基本設定を行います。本製品のデフォルト IP アドレスは 192.168.0.200 です。お使いのパソコンと本製品を同一ネットワークに接続し、Web ブラウザーにこの IP アドレスを入力することで、パソコンから本製品にアクセスできます。

本製品のローカルエリアネットワークを設定するには、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS を入力した後、OK をクリックして設定内容を確定します。

設定 > ネットワーク > 一般設定	
ネットワーク	<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> DHCP
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.200"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
プライマリDNS	<input type="text" value="168.95.1.1"/>
セカンダリDNS	<input type="text" value="168.95.1.1"/>
QoS(DSCP)	<input type="text" value="0"/> (0~63)
<input type="button" value="OK"/>	

インターネットアクセスを取得するには、お使いのインターネットサービスプロバイダにグローバル IP アドレスを問い合わせます。プロバイダから提供された IP アドレス（グローバル）、サブネットマスク、ゲートウェイ IP を入力します。

- **プライマリ DNS** : デフォルト（1 番目）の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- **セカンダリ DNS** : 予備として使用される、デフォルト DNS に対する 2 番目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- **QoS(DSCP)** : DSCP 基準に基づいて TCP/IP パケットヘッダを設定し、パケットの優先度を指定します。

ルーター、ゲートウェイ、およびその他の DHCP サーバーから、本製品の IP アドレスをリモートで指定できます。IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを手動で設定する必要はありません。ただし、DHCP サービスが再起動するたびに、本製品の IP アドレスが変更されることがあります。

メモ：

- DHCP オプションが有効化されると、DHCP サーバーによって本製品の IP アドレスが指定されます。この機能の使用は、LAN 環境の場合のみ許可されます。

HTTP

HTTP は、信頼性の高い映像ストリーミングプロトコルです。ポート転送を正しく設定することで、映像をインターネットで送信することができます。HTTP ポート番号の変更については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

設定画面 [ネットワーク] → [HTTP] から、使用したいストリーミング方式（HTTP & HTTPS または HTTPS）を選択します。OK をクリックして変更を反映します。

RTSP

RTSP もまた、信頼性の高い映像ストリーミングプロトコルです。ポート転送を正しく設定することで、映像をインターネットで送信することができます。

設定画面 [ネットワーク] → [RTSP] から、RTSP 接続を設定できます。

- **RTSP 認証** : オンにすると RTSP ストリーム接続時にユーザー名とパスワードを要求します。
- **エンコーダー** : エンコーダーの名前を変更します。

HTTPS

本製品は HTTPS（Hypertext Transfer Protocol Secure）サービスに対応しています。HTTPS とは、データがユーザーのコンピューターやウェブサイト間を行き来する際に、データの統合性や秘匿性を確保するためのインターネットプロトコルです。どのようなウェブサイトを閲覧する場合でも、オンラインにおいては安全性とプライバシー性の確保が重要視されます。

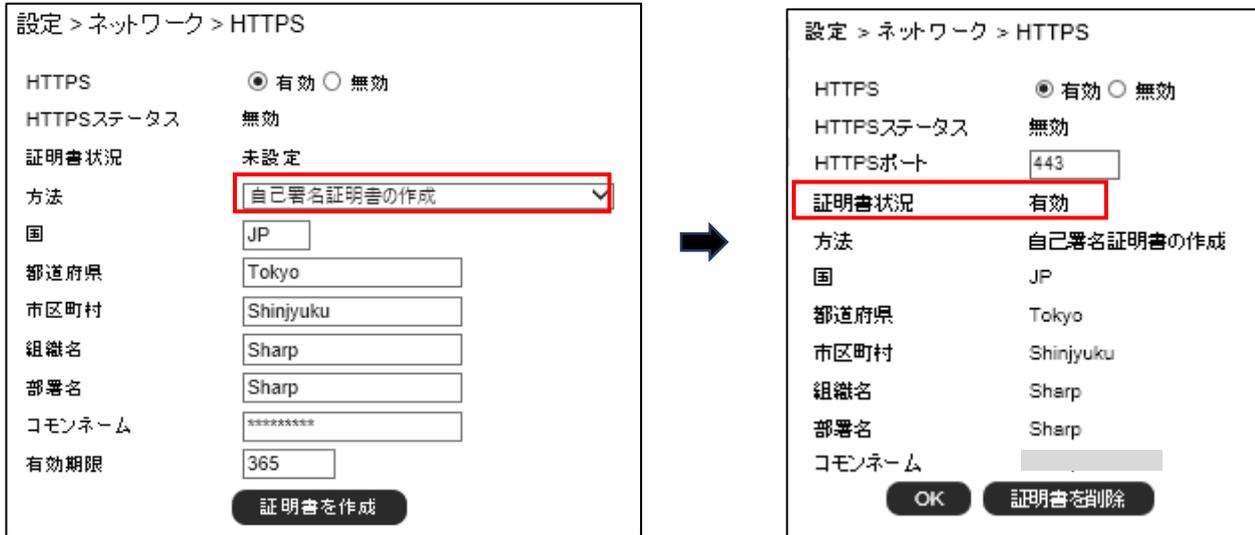
HTTPS は、HTTP のセキュリティを強化したものです。セキュリティ認証として、SSL プロトコルが追加されています。送信される情報が暗号化されるため、悪意の第三者がデータを傍受したとしても、データの内容を直接閲覧されることを防ぐことができます。

本製品で HTTPS を有効するには、設定画面 [ネットワーク] → [HTTPS] を選択し、[HTTPS] で [有効] を選択します。

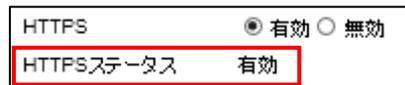
HTTPS サービスには、2つの設定方法があります。

1つ目の設定方法は、自己署名証明書の作成です。[方法]の項目で[自己署名証明書の作成]を選択し、都道府県などの空欄に必要な事項を入力した後[証明書を作成]をクリックします。

[証明書作成中]の画面が表示された後、認証状況が[未設定]から[有効]に変更されます。

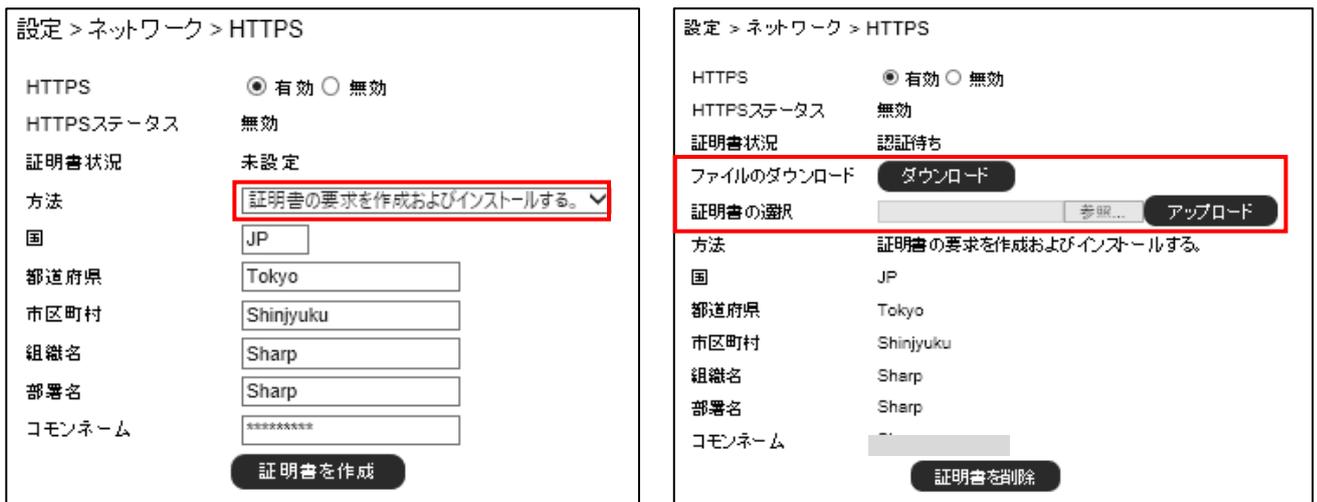


[OK] をクリックすると、[HTTPS ステータス]が無効から有効になります。設定が完了すると、Web ブラウザーから本製品に HTTPS プロトコルを用いて接続できるようになります。



2つ目の設定方法は、SSL 証明書を購入する方法です。[方法]の項目で[証明書の要求を作成およびインストールする]を選択し、必要事項を入力した後[証明書の作成]をクリックします。

第三者機関から SSL 証明書を購入後、お使いのコンピューターから SSL 証明書をアップロードします。アップロードが成功すると、証明書状況が未設定から有効に変更され、HTTPS ステータスが無効から有効に変更されます。



■スマートイベント設定

スマートイベントについて設定するには、設定画面の「スマートイベント」タブを選択します。左側に表示される「スマートイベント」「モーション検知」メニューから、確認または設定したい項目を選択してください。



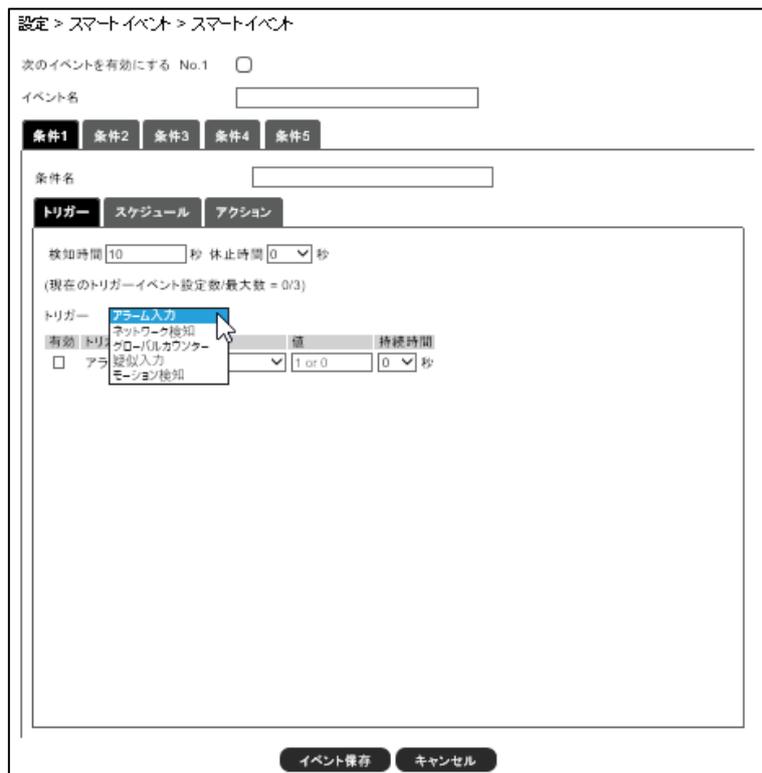
スマートイベント

ここでは、アラーム入力、ネットワーク検知、グローバルカウンター、疑似入力およびモーション検知について設定できます。

設定画面の [スマートイベント] → [スマートイベント] を選択し、[追加] をクリックしてスマートイベント設定画面を開きます。



[イベント名] および [条件名] を入力し、[トリガー] タブでイベント分類を選択します。トリガーは、アラーム入力、ネットワーク検知、グローバルカウンター、疑似入力、モーション検知から選択できます。



選択したイベントについて、トリガー条件や検知スケジュール、アクションを設定します。

検知スケジュールを設定するには、[スケジュール] のタブを選択し、イベント検知を有効にした
い時間帯を設定します。[休日リストを有効にします] のチェックボックスをオンにすると、[日
時] で設定した休日リストのスケジュールに合わせてイベント検知が有効になります。

[イベント保存] をクリックすることで、設定を反映できます。

トリガー	スケジュール	開始時刻		終了時刻	
<input checked="" type="checkbox"/>	毎日	0	:0	23	:59
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0
<input type="checkbox"/>	日曜日	0	:0	0	:0

休日リストを有効にします

イベント検知した際のアクションを設定するには、[アクション] タブを選択し、FTP 転送やメ
ール通知について詳細を設定します。

(現在のアクション設定数/最大数 = 0/10)

FTP転送, ルール番号:0	編集
メール通知, ルール番号:0	編集
アラーム出力, ルール番号:0	編集
HTTP通知, ルール番号:0	編集
グローバルカウンター, ルール番号:0	編集
疑似入力, ルール番号:0	編集
SDカード録画, ルール番号:0	編集
Sambaサービス, ルール番号:0	編集

- **FTP 転送** : FTP サーバーにスナップショットを送信します。
- **メール通知** : スナップショットをメールで送信します。
- **アラーム出力** : カメラのアラーム出力をトリガーします。
- **HTTP 通知** : 指定したウェブサイトアラームを通知します。
- **グローバルカウンター** : 0~65,535 の範囲で設定値を指定するか、-99~99 の範囲で値を追加します。
- **疑似入力** : 16 セットの疑似入力のうち、特定の疑似入力を有効化または無効化します。
- **SD カード録画** : SD カードに動画データを保存します。
- **Samba サービス** : Samba サーバーに動画データを保存します。

[イベント保存] をクリックしてイベントを保存します。

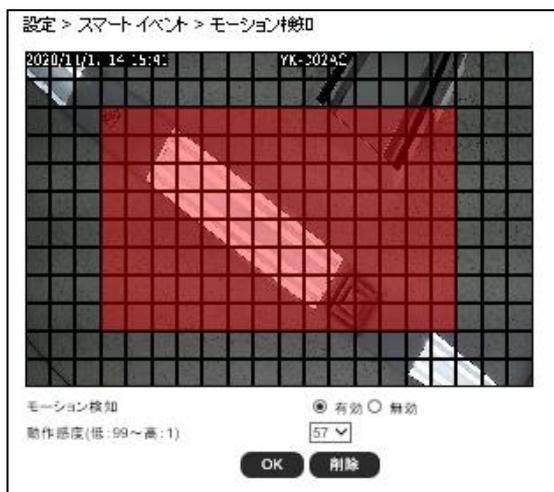
メモ:

- スマートイベント/アクションの設定を有効化するには、[コントロール] または [通知] の設定ページから、対応するアクションを設定してください。

モーション検知

本製品にはモーション検知機能が搭載されています。

モーション検知を有効にするには、設定画面 [スマートイベント] → [モーション検知] で、[モーション検知] を [有効] にします。



検知エリアは、表示されるカメラ映像の中から検知したい箇所をダブルクリックまたはドラッグすることで設定できます。一度設定したエリアを再度ダブルクリックするか、マウスの右ボタンでドラッグするとキャンセルします。

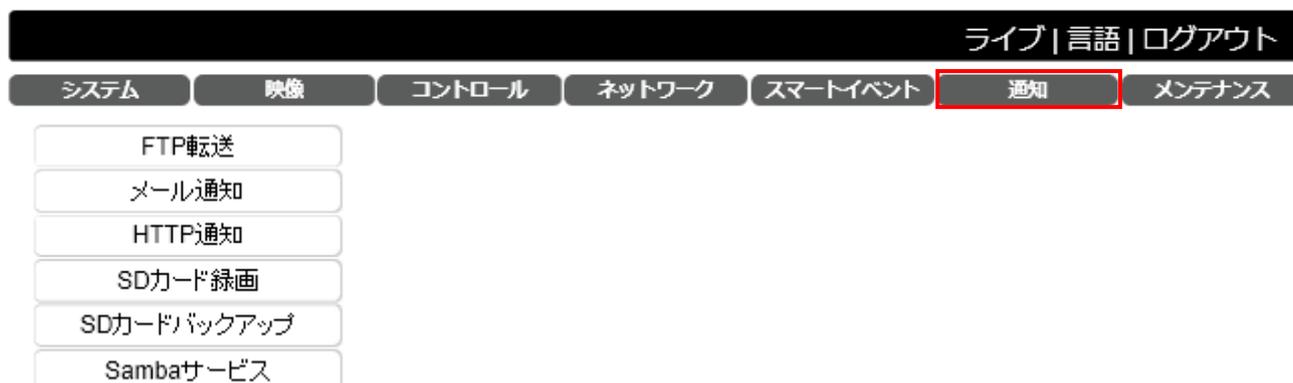
OK ボタンをクリックすることで設定情報を反映します。

メモ:

- モーション検知が有効の場合、モーションを検知するとライブビュー画面に赤色のMマークが表示されます。

■ 通知設定

通知について設定するには、設定画面の「通知」タブを選択します。左側に表示される「FTP 転送」「メール通知」「HTTP 通知」「SD カード録画」「SD カードバックアップ」「Samba サービス」メニューから、設定したい項目を選択してください。



FTP 転送

設定画面 [通知] → [FTP 転送] から FTP 転送について設定できます。

FTP サーバーにアラームスナップショットを送信するには、設定する FTP サーバーを選択し、必要な FTP 情報を入力します。

設定 > 通知 > FTP転送

No.	FTPサーバー名	FTPサーバーアドレス	ポート
1	FTPServerName	ftp.server.com	21
2	FTP1ServerName	ftp1.server.com	21
3	FTP2ServerName	ftp2.server.com	21

設定 > 通知 > FTP転送

No. 1

FTPサーバー名

FTPサーバーアドレス

FTPサーバーポート

アカウント

パスワード

ディレクトリ

プレフィックス

サフィックス

OK キャンセル

FTP サーバーとして、3 つの FTP サーバーが設定できます。

- **No** : FTP 転送の管理番号です。
- **FTP サーバー名** : FTP サーバーの名前を設定します。
- **FTP サーバーアドレス** : FTP サーバーのアドレスを設定します。
- **FTP サーバーポート** : FTP サーバーのポート番号を設定します。
- **アカウント** : FTP サーバーにログインするためのユーザーアカウント名を設定します。
- **パスワード** : アカウントのパスワードを設定します。
- **ディレクトリ** : JPEG スナップショットを保存するファイルパスを設定します。
- **プレフィックス** : JPEG ファイル名のプレフィックス（接頭辞）を設定します。
- **サフィックス** : JPEG ファイル名のサフィックス（接尾辞）を設定します。

メモ：

- ディレクトリのファイルパスは、半角英数字で設定する必要があります。

メール通知

JPEG スナップショットによるアラーム通知を e メールで実施することができます。設定画面 [通知] → [メール通知] を選択し、必要な情報を入力して設定してください。

設定 > 通知 > メール通知

メール受信者 設定

メールアドレス1

メールアドレス2

メールアドレス3

メールアドレス4

メールアドレス5

メール送信者 設定

メールアドレス

SMTPサーバー

SMTP認証

ログイン認証

SSL認証

TLS認証

SMTPポート

認証 OFF

認証アカウント

認証パスワード

OK テストメール送信

- **メール受信者 設定** : 受信するメールボックスのアドレスを設定します。最大 5 件まで設定できます。
- **メール送信者 設定** : 送信するメールボックスのアドレスを設定します。
- **SMTP サーバー** : メールサーバーのアドレスを入力します。
- **SMTP 認証** : 認証方式を選択します。
- **SMTP ポート** : ポート番号を設定します。初期ポート番号は 25 (メールサーバーポート) です。
- **認証** : メールサービスのオン/オフを選択します。
- **認証アカウント** : メールサーバーのユーザー名を設定します。
- **認証パスワード** : 送信メールボックスのパスワードを設定します。

HTTP 通知

アラームが発生した際、POST プロトコルを介してウェブサイト上に通知します。設定画面 [通知] → [HTTP 通知] を選択し、設定する HTTP POST サーバーを選択します。

設定 > 通知 > HTTP通知

No.	HTTP POST サーバー名	HTTP POSTサーバーアドレス	ポート
1	httpservername	httpserver.com	80
2	httpservername1	httpserver.com	80
3	httpservername2	httpserver.com	80
4	httpservername3	httpserver.com	80
5	httpservername4	httpserver.com	80
6	httpservername5	httpserver.com	80
7	httpservername6	httpserver.com	80
8	httpservername7	httpserver.com	80
9	httpservername8	httpserver.com	80
10	httpservername9	httpserver.com	80
11	httpservername10	httpserver.com	80
12	httpservername11	httpserver.com	80
13	httpservername12	httpserver.com	80
14	httpservername13	httpserver.com	80
15	httpservername14	httpserver.com	80
16	httpservername15	httpserver.com	80
17	httpservername16	httpserver.com	80
18	httpservername17	httpserver.com	80
19	httpservername18	httpserver.com	80
20	httpservername19	httpserver.com	80
21	httpservername20	httpserver.com	80
22	httpservername21	httpserver.com	80
23	httpservername22	httpserver.com	80
24	httpservername23	httpserver.com	80
25	httpservername24	httpserver.com	80

設定 > 通知 > HTTP通知

No.	1
HTTP POST サーバー名	httpservername
HTTP POSTサーバーアドレス	httpserver.com
HTTP POSTサーバーポート	80
アカウント	admin
パスワード	*****
HTTP POST URL	/url
HTTP POST JSON	/json

OK キャンセル

- **HTTP POST サーバー名** : HTTP POST サーバーを設定します。
- **HTTP POST サーバーアドレス** : HTTP POST サーバーの IP アドレスを設定します。
- **HTTP POST サーバーポート** : HTTP POST サーバーのポート番号を設定します。
- **アカウント** : アカウント名を入力します。
- **パスワード** : パスワードを入力します。
- **HTTP POST URL** : HTTP POST を送信するための CGI コマンドを設定します。
- **HTTP POST JSON** : JSON テキストエディタを設定します。

HTTP POST URL および HTTP POST JSON 利用可能な記号とメッセージ例は次のとおりです。

%mac_addr% => MAC アドレス

%YYYY% => 年

%MM% => 月

%DD% => 日

%hh% => 時

%mm% => 分

%ss% => 秒

HTTP POST URL メッセージ例を以下に示します。

/API_EXAMPLE?MAC_Address=%mac_addr%&YEAR=%YYYY%

/API_EXAMPLE?MAC_Address=**.*.*.*.*.*&YEAR=2018

HTTP POST JSON メッセージ例を以下に示します。

{MAC_Address:"%mac_addr%",YEAR="%YYYY%"}

{MAC_Address:"**.*.*.*.*.*",YEAR="2018"}

**.*.*.*.*.* : MAC アドレス

SD カード録画

設定画面 [通知] → [SD カード録画] を選択し、[SD 録画] を [オン] にすることで、イベント発生時、自動で録画を開始することができます。

SD 録画を有効化する前に、本製品に SD カードが適切に挿入されていることを確認してください。



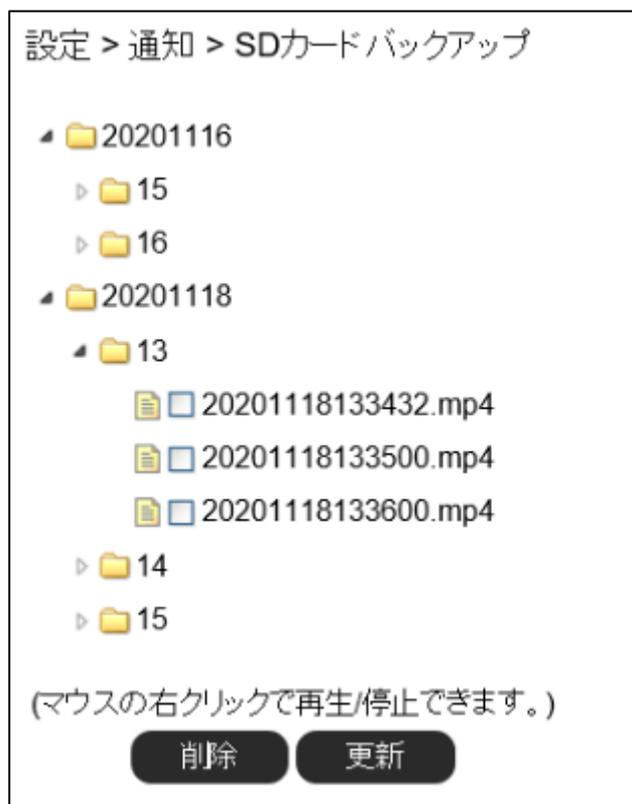
ご注意：

- SD カードを取り出す前に必ずマウント解除をクリックしてください。SD カードがマウントされた状態で取り出すと、ファイルシステムが壊れる可能性があります。

SD カードバックアップ

SD カードに録画されたデータのうち、特定のクリップをパソコンにバックアップすることができます。[通知] → [SD カードバックアップ] を選択し、該当ファイルをクリックして動画データをパソコンに保存します。

また、該当ファイルを右クリックして、映像を確認（再生/停止）することができます。



Samba サービス

Samba サービスは、Microsoft の Windows ネットワークを実装したフリーソフトウェアで、Windows のファイルサーバーやドメインコントローラ機能などを提供するサービスです。

本製品のストリーミング映像を Samba サーバーに録画できます。連続録画とプレアラーム録画が利用可能です。

この機能を使用するには、設定画面 [通知] → [Samba サービス] を選択し、Samba サービスの必要情報を入力します。常時録画の設定が可能で、Samba サーバーの容量が一杯になった場合は、最も古い録画ファイルに上書きして保存します。

- **Samba 録画** : Samba 録画サービスのオン/オフを選択します。
- **Samba 録画 OSD** : 動画データへのオンスクリーン表示のオン/オフを選択します。
- **Samba 常時録画** : Samba 常時録画のオン/オフを選択します。
- **録画形式** : AVI ファイルの録画形式を選択します。
- **プレ録画時間** : アラーム設定に基づくプレアラーム録画時間を表示しています。
- **Samba サーバーアドレス** : Samba サーバーの IP アドレスを設定します。
- **Samba サーバーアカウント** : Samba サーバーのアカウントを設定します。
- **Samba サーバーパスワード** : Samba サーバーのパスワードを設定します。
- **Samba サーバーディレクトリ** : Samba サーバー上の録画ファイル保存先ディレクトリのパスを設定します。
- **Samba 状態** : Samba サーバーのシステムステータスが表示されています。
- **Samba 接続状況** : Samba サーバーの接続ステータスが表示されています。
- **Samba 容量** : Samba サーバーのストレージ容量が表示されています。
- **Samba 空きスペース** : Samba サーバーの空きストレージ容量が表示されています。

メモ:

- Samba サーバーディレクトリの保存パスは、半角英数字で設定する必要があります。

■メンテナンス

本製品を初期化したりファームウェアを更新したりするには、設定画面から [メンテナンス] を選択します。



ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するには、[参照...] をクリックし、アップデートファイルの保存場所を指定します。適用をクリックしてファームウェア更新を開始します。



ご注意：

- 更新中は本製品の電源を切らないでください。本製品に修復不可能な損傷が発生する恐れがあります。

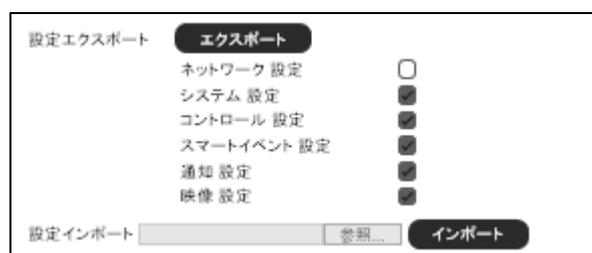
メモ：

- アップデートファイルは下記 URL からダウンロードすることができます。
<https://jp.sharp/business/security-camera/>

設定エクスポート／インポート

本製品の設定を他のカメラにエクスポートするには、エクスポートしたい設定項目を選択した後、設定エクスポートをクリックします。

他のカメラから設定をインポートするには、[参照...] をクリックしてインポートするファイルを指定し、設定インポートをクリックします。



システム再起動

[システム再起動] をクリックすると、システムを再起動します。



工場出荷設定

ユーザーや日時などのシステム設定および IP アドレス等のネットワーク設定を保持したまま、その他の設定項目を工場出荷時の設定（初期設定）に戻したい場合、[ネットワーク設定を保持したまま] を選択し、[初期値に戻す] をクリックします。

システム設定およびネットワーク設定を含むすべての設定を工場出荷設定（初期設定）に戻すには、[工場出荷設定] の [全て工場出荷時の設定に戻す] を選択し、[初期値に戻す] をクリックします。



ご注意：

- [全て工場出荷時の設定に戻す] を選択した場合、カメラの IP アドレスが初期値（192.168.0.200）に戻ります。
- ユーザーアカウントもすべて消去されます。新しいユーザーアカウントを設定してください。

ログインパスワードを忘れた場合など、Web ブラウザーにアクセスできない場合、本体のリセットボタンから本製品を工場出荷状態に戻すことができます。

以下の手順を実行してください。

1. 電源が供給されている状態で本体の「リセットボタン」を 10 秒以上押し続けます。
2. リセットボタンから手を離します。
3. 約 40 秒後、設定が初期化され、自動的に再起動します。
4. Web ブラウザーから本製品にアクセスします。初期 IP アドレスは 192.168.0.200 です。
5. セキュリティ確保のため、初回ログイン時にユーザー名とパスワードを作成してください。

お客様ご相談窓口のご案内

本製品の使い方など一般のご相談ならびに修理についてのご相談・ご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記ご相談窓口へご連絡ください。

修理ご相談窓口

シャープマーケティングジャパン株式会社 ビジネスソリューション社



<全国共通>

0570-006-008（沖縄地域を除く）

■ 受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40

（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます）

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

携帯電話からもご利用いただけます。

IP 電話をご利用の方は…

043-332-9957（東日本）

06-6794-9677（西日本）

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の取り扱いの詳細については、
<https://corporate.jp.sharp/privacy-j.html> をご参照ください。

電話番号、受付時間などについては、変更になることがあります。（2022年6月現在）

シャープ株式会社

〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地